

輸送動向について（11月分）

平成28年12月13日

1. 輸送概況

今月は、福島県沖地震ならびに鹿児島線架線切断などの影響により、月全体では高速貨55本、専貨6本が運休となった（前年は高速貨20本が運休）。また台風10号の影響で不通となっている石勝線・根室線については、引き続きトラック・船舶による代行輸送を実施した。

コンテナは、トラックドライバー不足により鉄道へのシフトが続いている積合せ貨物が、特に関東・関西地区において好調となった。また自動車部品が熊本地震で被災した現地工場の復旧及び自動車販売台数の増加に伴い増送となったほか、化学工業品も前年を上回った。更には食料工業品が飲料を中心に増送となったほか、エコ関連物資が北海道内での建設発生土輸送が堅調に推移し前年を上回った。

一方、農産品・青果物が台風10号の被害を受け、北海道地区からの野菜類・馬鈴薯が減送となったことに加えて、東北・新潟・北陸地区からの民間流通米輸送が低調に推移したことにより前年を下回った。その結果、コンテナ全体では、前年比102.7%となった。

車扱は、石油が関東地区で記録的に早い積雪を観測するなど、気温低下に伴い灯油を中心に好調な荷動きとなり、車扱全体では前年比111.2%となった。

コンテナ・車扱合計では、前年比105.0%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,945	1,895	102.7%	14,483	14,648	98.9%
車 扱	814	732	111.2%	5,433	5,283	102.8%
合 計	2,760	2,627	105.0%	19,916	19,931	99.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	211	222	-11	94.8%
	化学工業品	183	176	7	104.2%
	化学薬品	131	130	1	100.6%
	食料工業品	311	305	6	102.1%
	紙・パルプ	272	276	-4	98.4%
	他工業品	135	133	2	101.1%
	積合せ貨物	238	222	16	107.3%
	自動車部品	72	60	12	119.8%
	家電・情報機器	38	36	2	104.2%
	エコ関連物資	38	35	3	108.5%
	その他	317	299	18	106.0%
コンテナ計	1,945	1,895	50	102.7%	
車 扱	石油	546	468	78	116.8%
	セメント・石灰石	133	136	-3	98.1%
	車 両	80	73	7	108.8%
	その他	55	55	0	98.9%
	車 扱 計	814	732	82	111.2%
合 計		2,760	2,627	133	105.0%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）